

文化財 発掘出土情報

歴史・考古・文化遺産
の情報誌

巻頭グラビア

長野県佐久市 香坂山遺跡

特集
2020年考古学
発掘の一年



◇写真/香坂山遺跡 出土石器集合

主な収録遺跡・記事

群馬県藤岡市 **七輿山古墳**
ヤマト王権で重要地位

新潟県村上市 **上野遺跡**
縄文の焼き人骨 大量出土

福岡県春日市 **須玖遺跡群**
国内最古の「分銅」

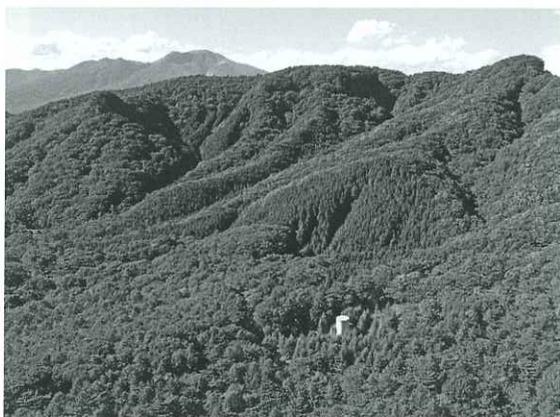
鹿児島県西之表市 **長迫遺跡・二石遺跡**
1万年前の勾玉形飾り

2021.2

香坂山遺跡

日本列島の後期旧石器文化を特徴づける石刃技法はいつどのように始まったのか、この問いは旧石器考古学の最大の目標である現生人類の列島到来の実態解明にも直結します。この大問題を解くカギが列島の真ん中、長野県と群馬県の県境の稜線に所在する八風山に眠っていることが分かってきました。黒色安山岩という優れた石材の産地でもあるこの山中で1996年に長野県教育委員会により発見され、翌年に長野県埋蔵文化財センターにより初めて発掘調査された標高1,140mの尾根上に立地する香坂山遺跡です。

2020年8月から9月にその隣接地点で科学研究費を使用して学術目的の発掘調査を実施



遺跡遠景（南から・大場正善氏撮影）
遺跡は円筒形建物の位置、奥は浅間山



発掘調査風景

したところ、地表下約2mで3万年前の始良Tn火山灰の純層が20cm堆積し、その50cm下層を中心に800点以上の旧石器が出土しました。それは長さ10cmを超える大型石刃、尖頭形剥片、小石刃から構成されることが分かりました。そしてこれに刃部磨製石斧が伴います。尖頭形剥片は求心剥離石核から規格的に生産されたいわゆる定義的な斜軸尖頭器であり、小石刃は大型石刃を石核素材とした彫器状石核から生産されています。



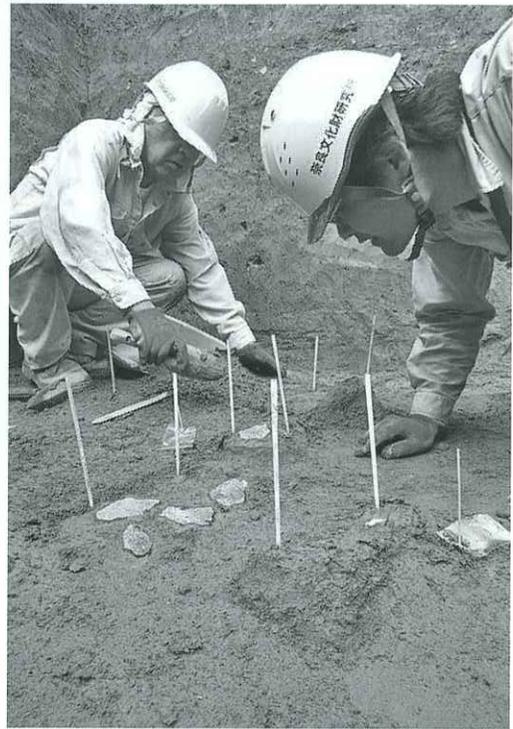
石器出土状態（壁の白色層は始良Tn火山灰の純層）



大型石刃（長さ 12 cm・幅 4 cm）出土状況

発見された大型石刃、尖頭形剥片、小石刃の3セットはユーラシア大陸中央部の初期後期旧石器時代と組成・技術ともに瓜二つです。

このため、ユーラシアの後期旧石器の最古段階と酷似した石刃石器群が列島に存在したことを示す重大な成果を得たわけです。列島の後期旧石器文化の成立と現生人類到来の実態を解明する大きな手がかりとなることは間違いありません。



発掘調査風景（堤隆氏撮影）



2020年学術調査 出土石器集合
（上段は尖頭形剥片、下段左より石斧、大型石刃3点、小石刃核、小石刃。大木文彦氏撮影）

（文・資料提供：国武貞克 奈良文化財研究所）